

ローム・アンド・ハース地域連絡会議

ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)相馬工場
平成15年6月10日



ローム・アンド・ハース地域連絡会議



- ◆日時:平成15年6月10日 16:00 - 17:30
- ◆場所:ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)相馬工場
- ◆参加者:中村東部第一行政区役員
相馬市役所
地域振興整備公団
旭電化工業株式会社
ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)
相馬工場



ローム・アンド・ハース地域連絡会議



議題

- ◆挨拶 16:00-16:20
- ◆会社概要及び当会議開催の経緯と主旨と目的について 16:20-16:30
- ◆化学物質管理の現状:種々な取組み、環境報告とレスポンスブル・ケア活動 16:30-17:00
- ◆意見交換 17:00-17:30



Safety/Community Consulting Group/3community Group

3

会社概要



ローム・アンド・ハース・カンパニー

- ☒ 本社 米国ペンシルバニア州フィラデルフィア市
- ☒ 設立 1909年 (日本では明治42年) オットー・ローム博士とオットー・ハース氏によって設立
- ☒ URL <http://www.rohmaas.com>

- ☒ 日本法人 ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)
- ☒ 本社 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSPビル D-10F
- ☒ 設立 1976年 (昭和51年)
- ☒ ビジネスグループ
 - ☒ パフォーマンス ポリマー (日本アクリル化学株式会社) (東洋エーソン株式会社) (日本ビニールケミカル株式会社)
 - ☒ 特殊化学製品 (イオン交換樹脂部門が属す。相馬工場)
 - ☒ エレクトロニック マテリアルス (シブレイ・ファースト株式会社)
 - ☒ 塩
- ☒ 主要製品商標
 - ☒ イオン交換樹脂: 「アンバーライト」、「アンバーリスト」、「アンバージェット」、「ディオライト」
 - ☒ 防腐防霉剤: 「ケ-ソフ」、「TOC3000」、「Sea-Nine211」
 - ☒ P. ポリマー: 「ハラロイド」、「ブライマル」、「アクリゾール」、「アキユマー」、「ローベイク」



Safety/Community Consulting Group/3community Group

4

会社概要



相馬工場

- 操業開始** 1993年11月
建設工事着工 1991年11月
建設工事完了 1993年 3月
- 従業員数** 59名(2003年6月現在)
- 製造品目** イオン交換樹脂・合成吸着剤
- 会社沿革** 昭和31年(1956)東京有機化学工業株式会社設立
昭和32年(1957)同 王子工場 イオン交換樹脂生産開始
平成 5年(1993)相馬工場操業開始
平成 7年(1995)ローム・アンド・ハース・ジャパン株式会社



会社概要



相馬工場



化学物質管理の現状



環境・衛生・安全基本規則

- 環境管理設備の適切な管理
 - ・ 停止の許可手順
 - ・ バイパス禁止
- 変更管理手順
(Management of Change)
- 報告
 - ・ 虚偽の報告禁止
 - ・ 意図的な報告の省略禁止



化学物質管理の現状



組織：相馬工場マネージメントチーム

- 責任者の選任、責任の明確化：
 - ・ 関係官庁とのコミュニケーション、報告等
 - ・ ビジネス、APR、本社とのコミュニケーション、報告等
 - ・ 環境関係法令、社内基準の遵守
 - ・ 廃水中、排気中の化学物質の分析
 - ・ 環境管理の責任について従業員教育・訓練
 - ・ 環境管理設備の管理

化学物質管理の現状



教育・訓練 (Continue)

▶従業員教育・訓練:

- ハザードコミュニケーション
(製品安全データシート、表示)
- 関係法令、社内環境方針について理解
- 廃棄物の管理、環境管理設備の管理
- 不具合の報告
- 漏洩時の対応責任
- 根本原因調査・再発防止対策



化学物質管理の現状



教育・訓練

原料供給者・運送業者

- 運送中の危険性管理
貯蔵、積み込み、積み下ろし、運送中
- レスポンシブル・ケア活動;環境・安全・健康を守る化学産業の取組み

化学物質管理の現状



設備管理:

クリティカル設備リスト(Critical Equipment List):

・リソースを配分するときの優先順位

- ・予防保全 (Preventive Maintenance)
- ・予知保全 (Predictive Maintenance)
- ・予備品購入

➤ 3つのカテゴリーによって評価

カテゴリー	乗数	評点
環境・衛生・安全	4	0 - 4
ビジネス	3	0 - 4
保全コスト	1	0 - 4

化学物質管理の現状



リスクアセスメント

➤ 環境・衛生・安全評価 (EHS Review):

- ・新しいプロセス、既存プロセスの変更について、従業員・地域社会・環境などへの影響、既存法令・許可の遵守
- ・既存プロセスの5年ごとの定期的な環境・衛生・安全評価

➤ MAPP (Major Accident Prevention Program)

➤ HAZOP Study (HAZard and OPerability study)

化学物質管理の現状



緊急対応と漏洩・拡散防止及び管理：

- 緊急時対応計画：
 - 自衛防災組織
 - 関係官庁緊急連絡網
- 緊急対応資機材
- 防油堤・防液堤



化学物質管理の現状



化学物質管理の現状



臭気管理：

- 設備の密閉化・除外設備の設置
- 臭気パトロール；構内、住宅地
- 臭気苦情対応手順

化学物質管理の現状



地下水汚染管理：

- 地下水汚染の可能性の確認
- 水文地質学的調査 (Hydrogeology)
- 地下水汚染の可能性のある物質の監視
 - 観測井戸の設置
 - 定期的な測定

化学物質管理の現状



廃水・排気管理

管理目標濃度の設定:

- 市との公害防止条例
- 住宅地着地濃度による管理 (CEVs List; Ambient Air Community Exposure Values)

環境保護への取組み



継続的に、大気、水、土壌などに放出される汚染物質の量を削減する。

◆ローム・アンド・ハース社レスポンシブル・ケア活動の実施、日本レスポンシブル・ケア協議会への参加



◆相馬市と当工場との公害防止協定の締結(化学薬品等の大気・水への放出、騒音、振動)



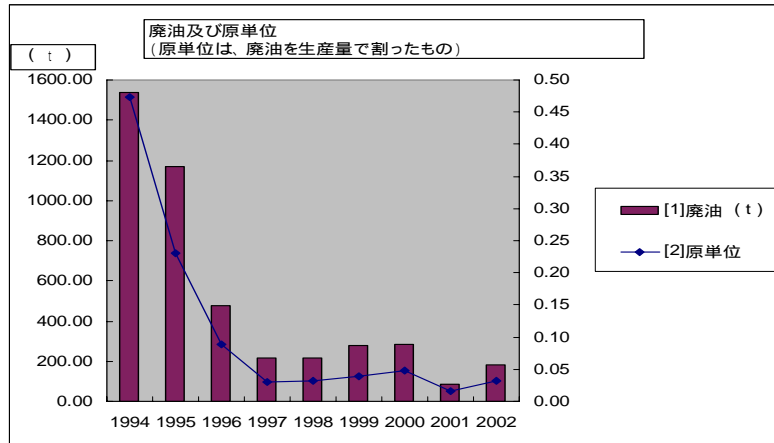
◆公害防止協定を遵守し基準値違反は無い



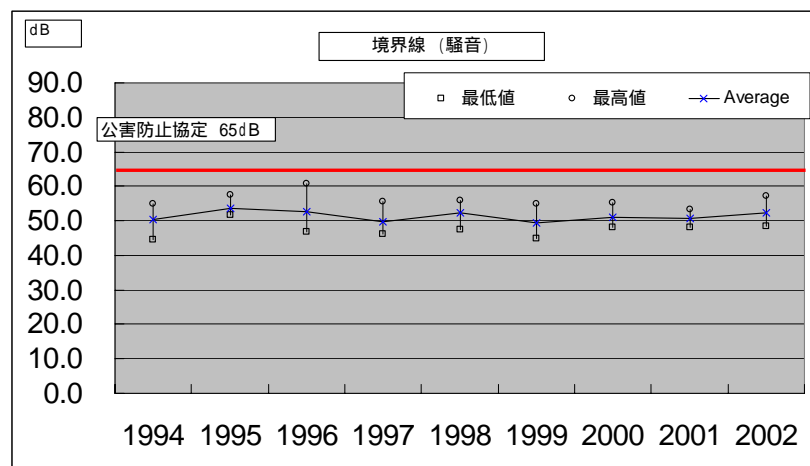
◆持続的環境開発プログラム (エコ・エフィシエンシー)



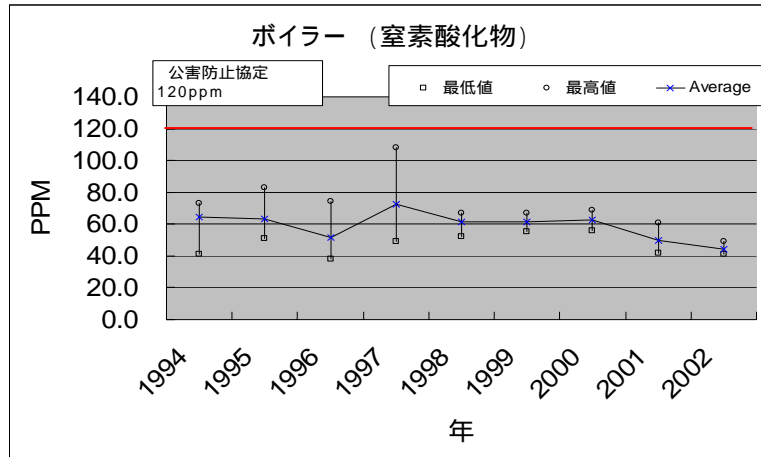
廃油(産業廃棄物)



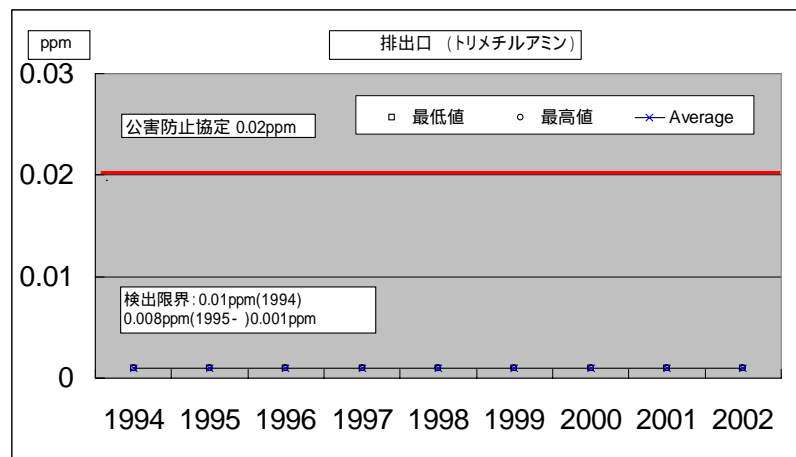
境界線騒音



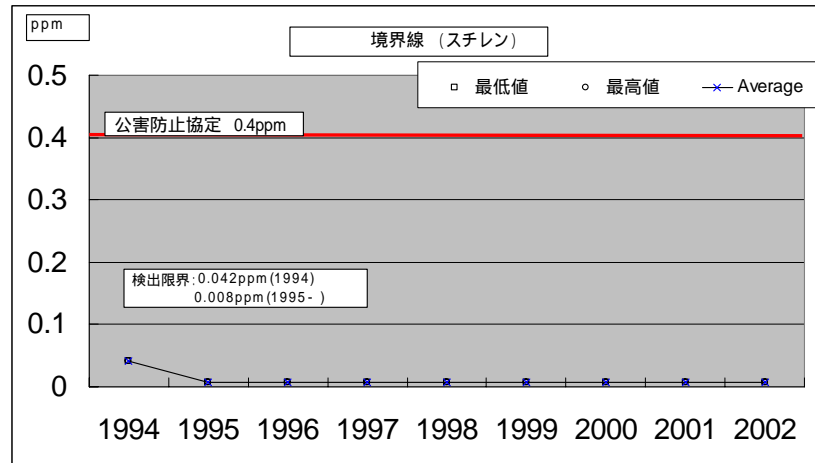
窒素酸化物(ボイラー)



トリメチルアミン(排出口)



スチレン(境界線)



環境維持・開発プログラム

環境効率

Eco-efficiency



改善目標



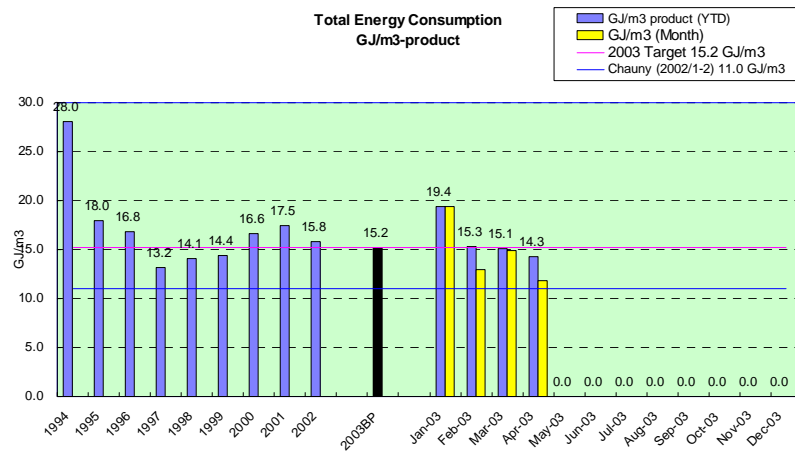
- ◆ 2000年にローム・アンド・ハース社では全ての事業部にその工程と製品に対して継続的な改善目標の設定を要求した。
- ◆ 全ての工場はエコ・エフィシエンシー(エネルギー原単位と水の原単位)について分析し、改善しなければならない。相馬工場では2003年に対前年比で
 - エネルギー原単位について、3.8%の削減目標を設定している。
 - 水の原単位について、3.3%の削減目標を設定している。
 - 10年間で20%の削減を目標としている。



Safety/Community Consulting Group/03community Group

25

エネルギー使用状況



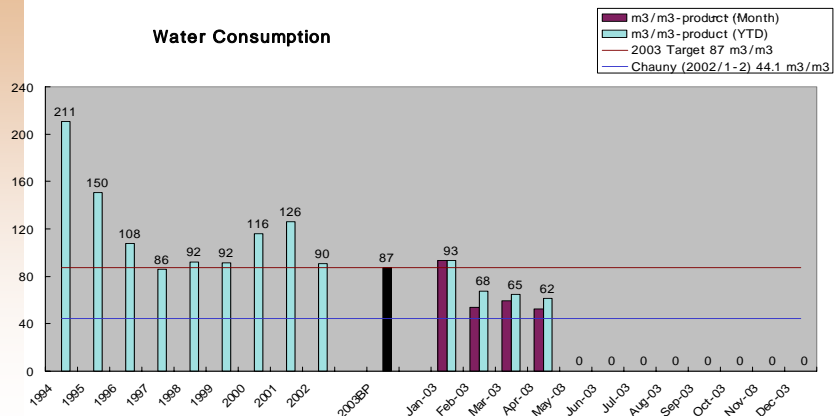
Safety/Community Consulting Group/03community Group

26

水の使用状況



Water Consumption



保安防災への取組み



火災、爆発、化学物質の漏洩 / 放出事故を防止する。

- ◆設備の自動化
- ◆定期自主点検の徹底
- ◆各種公的資格取得の補助・推進
- ◆社内教育の実施
- ◆R&H社変更管理手法 (EHS Review, Stage gate Process 等)



労働安全衛生への取組み



工場で働いている人の健康と安全を守り、増進する。

- ◆改訂セイフティー・ジャーニー活動(恒久的安全性の構築)



- ◆13のツールを使用

- ◆労働災害記録:

- ◆1996年6月より労働災害(不労災害を含む) = 0
- ◆1993年3月より休業災害 = 0、1,302,090hrs (3,730日間), as of 5/31/2003

- ◆THP活動の実施: 体力測定・健康指導



Safety/Community Consulting Group/3community Group

29

公表/対話及び緊急時対応の取組み



地域住民と地域社会と企業が情報交換を促進する。

緊急時対応を準備する。

- ◆産業祭などへの参加を通して企業活動の紹介
- ◆オープンハウスの開催
- ◆安全の日に工場南側、北側, 道路の美化運動
- ◆ホーム・アンド・ハース地域連絡会議の開催
- ◆緊急時措置規定の制定
- ◆相馬消防署との合同総合防災訓練



Safety/Community Consulting Group/3community Group

30

物流安全への取組み



一般社会で製品が輸送中に交通事故、漏洩などによって起こる、被害を防止する。

- ◆イエローカードの車携の徹底
- ◆原料運搬車両のイエローカード、緊急用具の車携等の調査
- ◆供給業者へのRC活動・物流安全の教育
- ◆供給業者への緊急時対応の教育



Safety/Community Consulting Group/03community Group

31

製品保全への取組み



製品の開発、製造、販売、流通、使用、リサイクル、廃棄にいたる全ての局面で環境・健康・安全を保護する。

- ◆代理店へのRCの啓蒙
- ◆代理店への製品の重要使用用途について教育
- ◆製品使用者への製品安全データシートの配布
- ◆弊社製品のリサイクル使用について代理店と共同研究



Safety/Community Consulting Group/03community Group



ローム・アンド・ハース・ジャパン(株) 相馬工場

リスクコミュニケーション



Nov.15, 2004
Y.Takeda

内 容

- **会社概要**
 - ローム・アンド・ハース・カンパニー、相馬工場
- **リスクコミュニケーション**
 - ローム・アンド・ハース/地域連絡会議 (Rohm and Haas Community Consulting Group)



会社概要

ローム・アンド・ハース・カンパニー

- ☒ **本社** 米国ペンシルバニア州フィラデルフィア市
- ☒ **設立** 1909年（日本では明治42年）オットー・ローム博士とオットー・ハース氏によって設立

- ☒ **日本法人** ローム・アンド・ハース・ジャパン(株)
- ☒ **設立** 1976年（昭和51年）

- ☒ **ビジネスグループ**
 - ☒ パフォーマンス ポリマー (日本アクリル化学株式会社) (東洋エーテック株式会社) (日本ビニケミカル株式会社)
 - ☒ 特殊化学製品 (イオン交換樹脂部門が属す)
 - ☒ エレクトロニック マテリアルス (シブレイ・ファースト株式会社)
 - ☒ 塩

- ☒ **主要製品商標**
 - ☒ イオン交換樹脂：「アンバーライト」、「アンバーリスト」、「アンバージェット」、「デオライト」
 - ☒ 防腐防霉剤：「ケ-ソ」、「TOC3000」、「Sea-Nine211」
 - ☒ P.ポリマー：「ハラロイド」、「プライマル」、「アクリゾール」、「アキマー」、「ロ-ベイク」



Safety/Community Consulting Group/3community Group

35

会社概要

相馬工場

- ☒ **操業開始** 1993年11月
建設工事着工 1991年11月
建設工事完了 1993年3月

- ☒ **従業員数** 46名(2004年10月現在)

- ☒ **製造品目** イオン交換樹脂・合成吸着材

- ☒ **会社沿革**
 - 昭和31年(1956) 東京有機化学工業株式会社設立
 - 昭和32年(1957) 同 王子工場 イオン交換樹脂生産開始
 - 平成5年(1993) 相馬工場操業開始
 - 平成7年(1995) ローム・アンド・ハース・ジャパン株式会社



Safety/Community Consulting Group/3community Group

36

会社概要

相馬工場



Safety/Community Consulting Group/03community Group

37

リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



Safety/Community Consulting Group/03community Group

38

リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



◆ レスポンシブル・ケア社内検証(BTMSV)

◆ 目的:

- ◆ RCの公約と事業活動の統一性の検証
- ◆ RCの基準類が事業活動にどのように関わっているか理解する為の教育手段
- ◆ RC活動がもたらしている製品に隠れている付加価値やサービスを証明
- ◆ RCプログラムを外部の目で検証、改善の手助け

◆ 検証者:

- ◆ 社内検証者、外部検証者(弊社顧客、行政、近隣企業)

◆ 改善提案:

- ◆ フォーマルな地域協議会、緊急対応訓練強化、環境改善計画など19項目



リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



◆ 主旨:

- ◆ 近隣住民、行政、近隣企業及びローム・アンド・ハース・ジャパン(株)・相馬工場間の意見交換の場

◆ 目的:

- ◆ 現在と将来について、お互いの関心事を共有し、お互いの希望・要求を実現するため

◆ 方法:

- ◆ 年1回 6月頃、弊社会議室で4者が集まり開催
- ◆ 議題; 弊社の環境・衛生・安全への取組みの現状と目標について(環境報告書)
- ◆ お互いの関心事について



リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



◆経緯:

- ◆平成9年9月;第1回オープンハウス
会社概要、工場見学、環境・安全・防災対策の紹介
- ◆平成10年8月;第2回オープンハウス
会社概要、工場見学、環境・安全・防災対策の紹介、バーベキューパーティー
- ◆平成11年8月;第3回オープンハウス
- ◆平成12年8月;第4回オープンハウス
- ◆平成13年7月;レスポンシブル・ケアの社内検証
- ◆平成13年8月;第5回オープンハウス
- ◆平成14年6月;第1回ローム・アンド・ハース/地域連絡会議
- ◆平成14年8月;第6回オープンハウス
- ◆平成15年6月;第2回ローム・アンド・ハース/地域連絡会議
- ◆平成15年8月;第7六回オープンハウス



Safety/Community Consulting Group/03community Group

41

リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



Safety/Community Consulting Group/03community Group

42

ローム・アンド・ハース地域連絡会議 議題



- ◆ 挨拶（山崎工場長、白井IER事業部長、島部長、増田所長、栗村区長） 16:00-16:20
- ◆ 会社概要及び当会議開催の経緯と主旨と目的について 16:20-16:25
- ◆ 化学物質管理の現状：種々な取組み、環境報告とレスポンスブル・ケア活動 16:25-17:00
- ◆ 意見交換 17:00-17:30
- ◆ 懇親会（扇や） 18:00-20:00



Safety/Community Consulting Group/Community Group

43

リスクコミュニケーション (ローム・アンド・ハース/地域連絡会議)



<http://www.rohmhaas.com/community/>



44